

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		いちごステップ					公表日	2026年5月30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・使い終わったら片づける。運動器具などスペースの確保を行っている。(1名)			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	4	0	・視覚支援している。(具体的に)(1名) ・カードやジェスチャー等で分かりやすく伝えるようにしている。(1名)			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2	・こどもの状況に応じて、個室を使用している。(1名) ・スペースを確保し、子どもに利用できることを伝えている。パーテーションで仕切る事もおこなっている。(1名)			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2			まずは、法人内他事業所間でのチェック機能をもって取り組んでいきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0			アセスメントの更新をおこなうことに努めていく。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1			・自身の確認や把握不足が多い。(1名)	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	・アセスメントの更新と職員への共有と支援への反映に努めている。(1名)			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1			個人が立案しチームで共有検討している	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・1回/月のミーティングで行っている。(1名)	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・打合せの時間を確保できない時は、連絡ノートや口頭での伝達に努めている。(1名)	・毎回ではないため、その都度、確認したい。(1名)
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	・打合せの時間を確保できない時は、連絡ノートや口頭での伝達に努めている。(1名) ・次の日にする場合もある。(1名)	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・計画期間に関わらず、必要に応じて変更する視点をもって支援している。保護者や関係機関との連携を意識している(1名)	
関係機関や保護者との連携	24	児童発達支援ガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	4	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	4	0	視覚支援を多く用いて、発信する機会と伝わった満足感から、意欲的に発信しようとする力を育てていく。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	・今後、相談員等とのコーディネートのもと、行うことに努める。(1名)	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	4	0		
		医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、主治医等との連携体制が整っているか。	0	0		
	29	移行支援として、こどもが他の児童発達支援事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1		今後、機会が発生したらそのように努めていく。
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてアドバイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		研修会の参加に努めているが、出向いて助言を受ける機会を検討していく。
	31	地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	0	文化展など、地域行事開催の案内をしている。また、文化祭にも利用児童が制作した作品(切り絵)を出展した。	
		(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0		
	32	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	・保護者向けの参観の期間を持ち、その時に情報提供等をおこなっている。(1名) ・開催を予定(1名)	
33	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0			
34	児童発達支援を提供する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0			
35	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0			
	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1	・面談の十分な時間を確保できない時もある(1名)		

保護者への説明等	37	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催することにより、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	親子ヨガを開催し、複数の親子が一緒に活動する機会を設けた。	・今後開催予定。(1名) ・開催を予定(1名)
	38	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	39	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	41	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	42	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0	・対象へこどもの作った作品を出展した。(1名)	
	43	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
非常時等の対応	44	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	45	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0		
	46	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	47	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	48	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	49	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	4	0		
	50	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	51	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明して了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1		身体拘束判定会議において、現在やむ負えずおこなうような判定をしているケースはない。